

令和5年度 江戸川区立鹿骨東小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○思いやりのある子…互いの人格を尊重し、心豊かな子 自己肯定感の高い子の育成</li> <li>○健康で明るい子…安全で健康な生活を心がけ、体力のある子の育成</li> <li>○よく考えふさがる子…自ら学び、深く考える子の育成</li> <li>○ねばり強くやめぬ子…目標をもち、最後までやり遂げる子の育成</li> </ul>	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○笑顔があふれる学校…児童が学ぶ楽しさが味わえ、成長を実感できる学校、保護者や地域にとって、誇りと信頼がもてる学校、教職員が教育者として喜びが味わえる学校を目指します。</li> <li>○元気で活力あふれる学校…児童が健康・安全・安心に過ごせる環境作りと体力向上を目指します。</li> <li>○創造力にあふれる学校…児童も教職員も学ぶ意欲と創造力をもち、課題に挑む学校を目指します。</li> </ul>
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>本校の教育全般については、学校評議員・地域関係者・保護者等からおおむね理解を得ることができた。おやじの会、図書ボランティア、グリーンボランティア、登校見守り、鹿骨東小学校ふるさと学習などについて地域や保護者と連携した教育活動を展開し、協働することができた。 <課題>朝読書、放課後補習を日常的に行う体制を整え全校で取り組んでいるが、学力の数値目標が達成できていない。さらに特別支援教育の充実が課題である。		

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	
学力の向上	<学力の向上> 「江戸川のStudy week」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上 「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・放課後補習教室の実施…2年～6年生(35回) ・各学期に東京ベネッセドリル診断テスト実施及び結果を受けての指導の工夫の検討・実践 ・家庭学習期間の実施…年4回 ・オンラインドリルの利用	・東京ベネッセドリル診断テストの平均正答率が一学期より5ポイントアップ ・家庭学習カードの提出9割以上 ・3年生以上到達度70%以上					
	<読書科の更なる充実> 読書を通じた探究的な学習の充実 (読書科カードの活用、資料の取集の仕方や記録の取り方の指導、自己の考えをまとめ表現する方法の指導、朝読書と1単位時間の授業との関連付け、他教科との関連等) ・学校図書館の整備、学校図書館を使った授業の充実	・図書館を活用した探究的学習を取り入れた授業…各学期1回以上(12時間以上) ・図書館スーパーバイザー、図書ボランティアの活用による学校図書館の整備の推進 ・図書館を使った調べる学習コンクールの参加 ・巡回指導員との連携	・調べたことを成果物としてまとめられる児童9割 ・児童アンケートで学校図書館の活用に肯定的な回答9割					
	<教員の授業力向上> ・校内研修の充実	・OJT研修の実施…年8回 ・校内研究授業の実施…年8回	・児童アンケートで、授業が分かりやすいと答える児童8割					
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体育の授業や休み時間における全校運動遊びなど主体的な運動の実施による運動意欲の向上	・計画的に行う体育の授業の実施 ・基礎体力向上動画の公開(運動委員会作成) ・長縄大会週間の実施 ・運動遊びの年7回	・児童アンケートで、運動をすすんでいるに肯定的な回答児童8割 ・児童アンケートで、新体力テストの昨年度比が向上したと答えた児童9割					
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	・専門員・SC・心理士・巡回指導教員・担任との連携 …各学期授業参観・適時 ・授業のユニバーサルデザイン化の推進 ・個別的教育支援計画・個別指導計画の作成と活用	・児童アンケートで学校生活に肯定的な回答8割 ・学級崩壊なし					
先生社会の実現に向けた教育の推進	<地域を生かした教育の推進> ・地域の自然や人材を活用した教育活動の実施	・PTAと協働した鹿骨東小ふるさと学習プログラム…各学年1回 ・地域を活用した学習…各学年年1回 ・学校応援団の活用	・児童アンケートで地域の人や自然の良さを感ずる児童9割					
	<子どもたちの健全育成に向けた取組> いじめ・不登校の未然防止に向けた魅力ある学校づくりの取組の充実 ・チャイルドレン・サポートチームや生活指導連絡協議会の活用 ・hyper-QUの活用	・QUの実施…年間2回(1回は学校独自調査) いじめ未然防止授業…各学年1回以上 いじめ防止「東つこ行動宣言」の作成掲示…通年 ・SOSの出し方指導…5年生年1回 ・校長講話…年3回 児童アンケート…年3回 ・生活指導委員会による情報共有…毎週金曜日 ・スターカッセルの全員面接…5学年 ・SSWの活用…全学年 「学級SNSルール」「東小子どもルールブック」「東小家庭学習の手引き」「東小家庭学習がんばりカード」の作成と活用…年4回 ・情報モラルについての学習…各学年1回以上 ・学年単位の読み書き運動…年6回以上 ・挨拶マスターの実施…年3回 ・学校いじめ防止基本方針の全体共有…年1回	・児童アンケートで地域や学校で挨拶をしているかについて肯定的な回答が9割 ・学校満足度調査(Q-U)による満足群の割合が全国平均を超える学級9割 ・いじめの早期解決 継続0% ・不登校継続数昨年度比減少					
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校の取組の積極的な発信> ・学校ホームページの充実等 ・学校公開の実施・充実 ・tutoruを使った情報の発信	・学校日より、学校日記などの適宜更新。 ・teamsなどの利用方法の掲載。 ・学校公開の年4回実施 ・tutoruによる情報発信	・保護者アンケートで、学校は保護者に適宜情報を発信していると思うかについて肯定的な回答8割					
	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施・改善	・年2回の学校関係者評価の実施 ・年末年始に次年度での改善事項の選定 ・年3回の学校評議員会の開催	・教員アンケートで昨年度の反省が生かされているに肯定的な回答8割					
特色ある教育の展開	<小中連携教育の推進> ・「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	・連携教育プログラムに基づいた小中の授業協議…年3回 ・うち6年生の体験授業・部活体験の実施連携…年1回	・児童アンケートで中学生になることに希望をもつ児童(6年)9割					
	<SDGs教育の充実> ・持続可能な社会を創造することを旨とする教育活動の実施	・もったいない運動の取組実施全学年 ・環境を考える学習…各学年1回以上 ・6年生のSDGs実践及び発表年1回	・児童アンケートでもったいない運動への参加に肯定的な回答8割					